

公民館だより

題字：前衛書家「吉川壽一」先生

平成25年3月15日発行【第328号】

発行元

吉崎公民館

福井県あわら市吉崎 8-34

郵便番号 922-0679

電話 0776(75)1205

komin-yoshizaki@city.awara.lg.jp

魅力ある自然を大切に



北潟湖自然再生連絡会（仮称）という会合が初めて行われました。

2月25日（火）、北潟公民館で行われたこの会合は、福井県の安全環境部自然環境課が北潟湖周辺のいろいろな団体に声をかけて行われました。今回は、吉崎小学校や北潟小学校、北潟漁業組合、あわらの自然を愛する会、北潟湖ハクチョウを見守る会、北潟・吉崎公民館など、あわら市の市民生活課の担当者も含め、12名が集いました。

現在、北潟湖に多く見られる魚の第1位は、外来生物である「ブルーギル」です。第2位も外来種の「タイリクバラタナゴ」。元来見られた「メダカ」や「ワカサギ」は希少種になり、県域絶滅危惧Ⅱ類に指定されているほどです。

湖畔に住む者にとって、毎日の生活に追われているせいか、さほど自然が変わりつつあるという危機は持っていませんでした。しかし、確実に昔の生態系は壊れ、水辺で遊んだあの日の事が幻へと変わっているようです。今一度、身近な「自然」を大切にする気持ちが必要ではないでしょうか。



4月7日（日）；吉崎小学校PTA資源回収；午前8時から



ありがとう「6年生」、そして卒業おめでとう！

3月2日（土）、吉崎小学校「思い出の会」が行われました。

思い出がいっぱい詰まった吉崎小学校を、4名の児童が巣立っていきます。5年生が中心となってお世話になった6年生に、ありがとうの心をこめて素晴らしい出し物を発表してくれました。

どの学年も何日も前から練習に取り組み、幼稚園と1、2年生は「うらしまたろう」3、4、5年生は「6年生のアルバム」に挑戦、各学年が工夫を凝らして出し物を行いました。最後に、皆で想いを込めて歌った「空も飛べるはず」は、最高の歌声でした。6年生の心には、きっと強く響いたことでしょう。会場に、多くの涙が流れていた事は、言うまでもありません。



早稲田大学賞（特別賞）受賞！

吉崎赤手ガニ環境調査隊が、「こどもエコクラブ壁新聞コンクール」で早稲田大学賞（特別賞）を受賞しました。

吉崎小5、6年生5人の「吉崎赤手ガニ環境調査隊」は、平成23・24年の夏休みに北潟湖の水質調査活動を行い、10年前のデータと比べ、その水質が改善傾向にあることを明らかにして壁新聞にまとめました。その壁新聞「守ろう！ぼくらの北潟湖」が栄誉に輝いたのです。

表彰式は3月24日（日）、西早稲田キャンパス理工学術院（東京都）で開催される「こどもエコクラブ全国フェスティバル2013」で行われ、県代表として、壁新聞をもとに、クラブの活動を発表する事になっています。

皆さん、おめでとうございます！

『吉崎老人クラブ総会』

2月22日（金）、吉崎老人クラブ通常総会が吉崎公民館で開催されました。

老人クラブとは言え、大変お元気な方ばかりで、会長挨拶、古田区長会長、丸谷市議会議員の祝辞の後、議事に入りいずれも原案通り承認されました。

出席した会員たちは、仲間づくりを通して生活を豊にするための活動を行うとともに、今まで培ってこられた豊かな知恵と経験を生かして、地域を豊かにする社会活動にも取り組み、自らの生きがい高め明るい長寿社会づくりを目指していくことをあらためて確認していました。

いつまでも皆さんお元気で、すますのご活躍をお祈りします。



『春日神社掃除』

3月3日（日）、春日神社春の例祭を迎えるに当たり、新用区と春日区で境内の掃除が行われました。

春の訪れを感じつつも、寒さが厳しい朝でしたが、皆さんベブラや竹箒を持って集まり枯葉掃除など、要領よくテキパキ動いていただき落葉や枯枝で覆われていた境内・石段・参道が見違えるように綺麗に片付けました。

参加した人は「心地よい満足感」を頂きました。



【吉崎再発見】36 ～吉崎周辺の魚類～

北潟湖と日本海はつながっています。

開田橋より北方の湖水は殆んど海水に近く、真水と海水が混じっている汽水湖です。

生息する魚類や生物の種類も多く、主な魚類は、フナ、コイ、ウナギ、ワカサギ、ボラ、スズキ、サヨリ、鮎、シラウオ、ハゼ、ウグイ、オイカワなど約60種が生息しています。また、ゴクラクハゼはわが国の分布上の北限で重要な魚です。

甲殻類は、テナガエビ、スジエビ、モズクガニ、アカテガニ、ベンケイガニなどが見られます。貝類は、シジミ、カワニナ、タニシ、カノコガイ、ドブガイなどが見られます。

北潟湖の魚業としては、フナ、ワカサギ、ウナギ、コイなどを水揚げし、フナ、コイなどの稚魚や卵を放流しています。

漁法としては、12月～3月にかけて行われる寒ブナの柴漬漁（しばづけりょう）は、明治時代より続けられ北潟湖の冬の風物詩として有名です。



『ロマンを秘めた歴史街道を、山野草の花で飾りませんか!』

いつでも誰でもが集い、観察する事が出来る里山を目指し、誇れるふるさとを皆で創ろう!

活動場所	北潟国有林
活動時期	下草整備 (4/25 頃)
苗移植	(5/10~5/20)
花の探勝会	(8月~9月)
登録料	初回のみ500円
参加料	1回につき100円 (保険料としてご負担をお願いしま
申込み	北潟の森協議会 (あわら市波松28-64 河田) TEL: 79-0401 吉崎公民館 (あわら市吉崎 8-34) TEL/FAX: 75-1205 皆様の、参加をお待ちしています。



◎会員登録された方には、キキヨウ・オミナエシ自生種苗をプレゼント (予定) します。

今年もやります! 『G o b o u市』

「吉崎蓮如忌」期間中の4月28日(日)、29日(祝)、門前町の通りをメイン会場にして、行うことが決まりました。蓮如忌を盛上げる事業として発足し今年で5年目なり、県内外のお客様に注目される事業として、益々活気のあるイベントに定着しつつあります。

実行委員会も組織され現在準備に追われています。当日は東別院での「合掌座」の公演「金沢舞踏館」の路上パフォーマンス、路上ライブなど賑やかになりそうです。

詳細は次号に掲載予定です。ご協力とご支援をお願いします。



◆ 各教室、講座生を募集します!

ソーイング教室(定期教室)		カラオケクラブ		詩吟クラブ	
どんどん手づくりの夢を膨らませましょう。 洋服のリフォームからリメイク、洋服作りを 楽しく学べます。		講 師	中西美和子氏	講 師	堀川尚洲氏
		開催日	第1・3土曜日	開催日	第1・2・3・4月曜日
		時 間	午後7時～	時 間	午後7時～
講 師	河村珠江氏	その他	歌唱力向上、歌が うまくなる！	その他	初心者・老若男 女、大歓迎！
開催日	第1・3月曜日 第1回開催日、5月13日(月)	パッチワーク自主講座			
時 間	午前9時30分～	開催日	第2・4水曜日(変更の場合もあります)		
定 員	10名	時 間	午後1時30分～		
受講料	年間5,000円(全22回)	その他	バラエティ豊かな作品を作り、みんなでワイワイ。 楽しいサークルですよ！是非ご参加ください。		
その他	初心者の方も安心です。	*カラオケ愛好会も結成予定です。			

申込みは吉崎公民館まで! (☎0776-75-1205)

【今月のことば】春色無高下（しゅんしょくこうげなし）

これは禅語です。「春色無高下」に、「花枝自短長」と続きます。

読み方は、「しゅんしょくこうげなし かし おのすからたんちょう」と言います。

春になりました。暖かい日差しが戻ってきて、梅、桜、桃、いろいろな花が咲きはじめました。うらかな春の日差しは、町にも山にも一様に降りそそぎ、平等です。

けれど、梅の花もあれば、桜の花もあり、同じ花といっても長い枝もあり、短い枝もあります。そこには差別が歴然としています。

「春色高下無く、花枝自ずから短長」は、この様な自然界を見つめ、仏教の「平等即差別、差別即平等」の根本思想を知ることが大切だと説いているのです。

私たちは、どうしても考え方が自分中心で、一方に偏りがちです。しかし素敵な春を迎え、この言葉を胸に、「人には長所も短所もあり、社会的に平等と言えども必ず違いがあるけれど、『仏』が見守るすべての人、全宇宙のものは、すべて同じ意識でしかないのです。だからこそ、偏見ではなく、相手を思いやる大きな心を持つようにしませんか」と、自分を見つめてみてはいかがでしょうか？

（挿絵；小坊主つばめ）



ごみの出し方あれこれ

昨今、ごみの分別が複雑化している中、昨年の10月から廃プラスチック容器包装というちょっとむずかしめな分別収集が始まりました。「面倒くさいな」と思わず、資源の再利用にご協力ください。

【分別方法】

1) 容器であったり、包装してあるものかどうかをご確認ください。

・同じプラスチックでも、あわら市が行っている分別収集は、容器包装のみとなっていますので、プラスチック製品を出さないよう気をつけてください。

2) 次にプラのマークが入っているか、確認してください。

・プラマーク、この表示があるものを分別してください。



プラスチック製
容器包装識別
表示マークは
ありますか？

はい

そのプラスチックは、
『包み(包装)』や
『容器(入れ物)』です
か？

はい

そのプラスチック
の汚れは、はたい
たり、すすいでおち
ますか？

はい

『廃プラスチック』
に該当しますので、
分別収集で出して
ください。

いいえ

『燃やせるごみ』で、
出してください

いいえ

『燃やせるごみ』で、
出してください

いいえ

『燃やせるごみ』で、
出してください

シリーズ「この人に聞く」11

あわら市消防団第3分団 分団長 辻 裕治郎

「消防団です」

吉崎区民の皆様には、日頃より『火の用心』に心がけていただきまして、団員一同、心からお礼申し上げます。さて、去年の11月3日、県知事より無火災表彰を受賞しました（12年6ヶ月）。今年の3月には21年ぶりに新車（ポンプ車）を導入します。今あるポンプ車より少し大きくなるみたいです。また、操作も少しちがうので団員一人一人が操作出来るように指導や訓練をしていきます。それと吉崎区より、区の消化器具の維持管理を任されていますが、格納箱に入っている為とホースが何十年も前に購入した品物でもあり、劣化が激しく、現在の所、何年も前から消防団のホースを貸していましたが、お貸しするホースの在庫も無く消防署から消防団へのホース配給も難しくなって来た為、去年より4本のホース（内1本を消防団から）市の補助金制度を提出して購入しました。地区内のホースを取り替えると（格納箱25個×2本入り）50本×¥20,000と大きな金額になります。各区の区長さんとも、相談しながら対処していきたいと思います。これからも「火の用心」「消防活動」に、ご協力やご支援、ご理解をよろしくお願いします。



駐在さん、だぁ～い好き！ -その9-

吉崎駐在所の木下です。

今月は、あわら警察署管内の犯罪発生状況についてです。

2月中に、車庫の中に置いてあった夏タイヤが盗まれました。

被害の状況は、「シャッターに鍵を掛けていない車庫の中」から盗まれるというものでした。更に温泉街では、泥棒が店舗内に侵入して、レジから売上金が盗まれるという出店荒らしが発生しました。

この出店荒らしの手口は、「無施錠の窓等から侵入し現金を盗む」というものです。

いずれの犯罪も、無施錠箇所からの侵入であることから、施錠することを面倒くさがらずに、「鍵をしっかり掛けて」犯罪者を寄せつけない、みんなが安全で安心して暮らせる社会づくりに御協力ください。

また身に覚えがない車等を自宅近くで見かけた場合は、車のナンバーや特徴等をメモして警察に知らせてください。



「PM2.5」要注意！

中国からの飛来が問題になっている大気汚染の元区となる微小粒子状物質「PM2.5」が、あわら市では、2月中旬から3月下旬にかけてアレルギー源となるスギ花粉の飛来と重なります。3月末から5月にかけては、中国から黄砂に付着して飛来することが予想され問題されています。濃度が高くなった場合は、子供やお年の方、また、ぜんそくや気管支炎などの循環器疾患のある方は特に注意が必要です。

シリーズ The 時代 『吉崎の変遷を辿る～明治時代以降～』

その3 （吉崎の郷土誌より抜粋）

■北陸鉄道の開通と吉崎浦

吉崎浦が不振で困っていた折に、思わぬ朗報が舞い込んできた。

それは明治初期から再び敦賀・三国間の定期航海の便が開かれて、福井・石川両県から移出し移入するすべての物資がこの吉崎浦を経由することになったからである。ところが、残念なことに、明治31年に開通した北陸鉄道は吉崎を通らず、それまで隆盛を誇ってきた大聖寺―吉崎―小牧―加戸―三国の小牧道（薬師道）は、輸送物資が激減して衰えた。そんな中で明治30年、北潟地区の分村もり、吉崎は全国でも珍しい一区一村の独立自治体となったのである。



吉崎の地籍にあるトンネルの跡

この頃の吉崎は、北前船の衰微と力キ塚の壊滅と共に、福井―富山の北陸鉄道の開通により、北陸の交通幹線から外されることになった。しかし「吉崎村是」では、まだ北陸鉄道の開通による吉崎の影響については予想もせず、ただ蓮如忌の盛況にもふれて、吉崎―大聖寺の道路整備と大聖寺川の舟運を重視していたのであった。

■北陸本線の開通

明治政府は、経済の発達と軍事上の必要から交通制度の整備につとめ、明治5年9月、東京―横浜間の鉄道開運を筆頭に、明治22年には東海道線が全通し、32年には北陸本線が開通した。

北陸本線は、明治26年から7年継続事業として行われ、明治29年7月、敦賀―福井間が、30年9月に福井―小松間が開通した。この北陸線の開通については、それ以前の明治21年に、敦賀―富山間の鉄道敷設計画の時には、敦賀―福井間から三国を迂回して芦原―吉崎御坊―大聖寺に至る計画をたて、これには旧加賀藩主・前田家と旧越前藩主・松平家の援助もあったが、それは実現に至らなかった。当時の村民の中には鉄道が開通すると、多くの客が素通りしてしまうので、参拝客の宿泊もなくなって吉崎村が衰微するといって反対する声もあった。

北陸本線の開通により、県内にも福井を中心に鉄道会社の設立の気運が生まれた。

そして明治42年、中尾水力発電所ができて電力供給ができるようになってから、電気鉄道敷設の気運が高まり、大正3年には越前電気鉄道会社によって福井―大野三番に電車が開通した。

■加越電鉄から吉崎電鉄へ

吉崎においても大正7年に、発起人・名村忠治氏を先頭に地元有志の発起で加越電気株式会社を設立し、福井―三国―芦原―吉崎御坊をつなぐ計画をたて中央に働きかけ、大正8年12月にはこの計画に尽力された杉田定一翁の秘書・西島佐吉氏宛に2年以内に着工という条件で認可された旨の連絡があった。地元民は大喜びで、株式の申込みが殺到した。

しかし、その頃は第一次世界大戦後の不況と、発起人・名村氏の問題もあって、この計画は実現に至らなかった。その後、名村氏は病気で執務できず再度の失効に頻した。

その時、吉崎鉄道は敷設権利を京都電灯会社（京福電鉄）にゆずり協力を要請し、京都電灯会社はこれを受諾して、大正13年資本金200万円で三国・芦原電鉄を設立。昭和3年5月に芦原―吉崎間を切り離して工事に着工し、同年12月には福井―三国間をわずか7ヶ月で竣工した。

これには、鉄道省の協力があったといわれている。

これによって、吉崎は再び電鉄の計画から漏れる苦境にたたされた。

【ふるさとクロスワード】

＊答えの解った方は、公民館まで連絡して下さい。正解者には、年度末に素敵な賞品が当たる抽選券を差し上げます。

(×切は平成25年4月10日)

先月号の回答は「シンラン」で、Aの「浄土真宗」でした。

今月の問題

パズルの中のAからDの4文字を並び替えて組み合わせ、ある県名にして下さい。その県にある市は、下の3つのうちどれでしょうか？

(A ; 金沢、B ; 長崎、C ; 横浜)

1		8		12	15	17
		A				
				13		D
2	6		10			
			B			
	7				16	
3			11	14		
				C		
4		9				
5						

【よこのヒント】

- ① ; 東亜と呼ばれる、日本、中国は東アジア。ベトナム、タイ、ミャンマーは〇〇。
- ② ; 旗の一種ですが、高速道路でよく風の強さ・向きなどを知るために付けられているものは？
- ③ ; 香魚と書いて〇〇。
- ④ ; 馬具の一つで、口にくわえさせ手綱を付ける金属製のものは？
- ⑤ ; 浜坂の「弁天島」には弁天様が祀られています。同じ七福神の一つで、多聞天とも呼ばれ、戦国武将「上杉謙信」が軍旗にその一字を使用したことで有名な神様は？
- ⑦ ; 毎週楽しみな連続テレビドラマ。良い所で「続きは〇〇に・・・」また来週見なくっちゃ・・・
- ⑪ ; その昔、日本には多くの渡来人がやって来ました。吉崎の地籍にある「唐来里（からくり）」というものもそのなごりですが、そのまま国民となった人の事は？
- ⑬ ; 二人あるいは少人数で、向かい合って話し合う事。
- ⑯ ; 吉崎に来た松尾芭蕉。奥の細道の一節から・・・
『越前の境、吉崎の入江を舟に〇〇して、汐越の松を尋ぬ。
『よもすがら 嵐に波をはこばせて 月をたれたる汐越の松』西行、この一首にて、数景尽たり。(後略)」船で汐越の松を見に行っただけですね。

【たてのヒント】

- ① ; いよいよ「蓮如忌」。吉崎に御帰りになる最後のお立ち寄り所は細呂木ですが、そこにある「名号」は、「〇〇の御名号」と呼ばれ、虎の毛のように模様がついています。
- ③ ; 春眠暁を覚えず・・・良い気候になると、〇〇が出てホント眠たくなります。
- ⑥ ; 手品師の事。
- ⑧ ; 何でも上手く行かないものです。〇〇思うようにいかないのが人生でしょうか。
- ⑨ ; 「もう〇〇やわ～」この意味は、道理に合わない事、無茶という意味です。関西の方言で「わやく」から来ている言葉だそうです。
- ⑩ ; 室外の空気。
- ⑫ ; 疑いをはらす証拠の事。「愛の〇〇」とか「身の〇〇」などと使います。
- ⑭ ; 家父・家長が子孫や家臣に与えた訓戒。
- ⑮ ; 辞職または辞退の意向を伝える事を、「〇〇を表明する」と言います。
- ⑯ ; スプーンのこと。
- ⑰ ; あわら市にある「関西の奥座敷」は？

おひらせ

4月 7日(日)	吉崎御山掃除と空き缶ひろい
4月 14日(日)	吉崎体育協会協議会
4月 23日(火)	吉崎蓮如忌はじまる・・・
4月 28日(日)	仏法劇団「合掌座」公演；於 吉崎東別院

『平成24年度ふるさとクロスワードパズル正解者抽選会』

1年間ご愛読いただき、多くのご応募ありがとうございました。

3月27日(水)、午後3時30分より、平成24年度、公民館だより「ふるさとクロスワードパズル正解者」愛読者謝恩抽選会を、吉崎公民館「談話室」で開催いたします。